

神の定められた御旨のために神を食べて神を享受し、

神の大いなる喜びのために生き、神のみこころを知って、それを行なう

聖書：Ⅱテモテ 1:9. 詩 36:8-9. ヨハネ 6:57. エペソ 1:5, 9. コロサイ 1:9. マタイ 7:21

I. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、神を食べて神を享受する必要がありす——Ⅱテモテ 1:9. 詩 36:8-9. ヨハネ 6:35, 51, 57. I コリント 10:17 :

A. 神はわたしたちが彼を享受し、彼の定められた御旨のために生きることを願っています——詩 36:8-9. ローマ 8:28 :

1. 三一の神は喜びの神です—— 15:13. ヨハネ 15:11. 17:13. 使徒 13:52. ガラテヤ 5:22.
2. 人は享受と目的の必要をもって創造されました——創 2:7-9. 伝 3:11。
3. 神はご自身の定められた御旨にしたがってわたしたちを救い、召しました。今や彼の定められた御旨は、わたしたちの目的となるべきです——ローマ 8:28. Ⅱテモテ 1:9. 3:10。
4. わたしたちは信者として、神を享受することに集中する必要があります、神の願いはご自身をわたしたちに与えてわたしたちの享受となることであることを見る必要があります、彼を享受するという思いをもって彼に来る必要があります——ヨハネ 1:1, 14, 16-17. 詩 36:8-9。
5. クリスマン生活の秘訣は神を享受することです——ヨハネ 15:11. 16:22。

B. 神のエコノミーとは、わたしたちがキリストを食べて彼で構成され、彼を表現し彼を代行することです——I テモテ 1:4. ヨハネ 6:35, 51, 57. 創 1:26 :

1. 神のエコノミーは、キリストがわたしたちの中に入って来ることです。このために、わたしたちはキリストを食べて、彼を取る必要があります——エペソ 3:17 前半. ヨハネ 6:57 :
 - a. 神はわたしたちが彼を食べ、消化し、吸収することを願っています—— 53-58 節。
 - b. 食べることは神の分与を経験し、神を表現し代行する道です——創 1:26. 2:9。
2. クリスマン生活全体は祭り、すなわち、わたしたちの宴席としてのキリストの享受であるべきです——I コリント 5:7-8. 10:16-17 :
 - a. わたしたちはみな同じ霊の食物を食べるべきであり、主以外の何も食わず、主にとって代わるものを何も享受しないようにすべきです—— 3-4 節。
 - b. 食べることは享受と関係があります。もしわたしたちの享受がキリスト以外の事物であるなら、神の目に、その享受は偶像礼拝です—— 7, 14, 22 節。
3. わたしたちはみな一つからだです。なぜなら、わたしたちはみな一つパンにあずかっているからです—— 17 節。
4. わたしたちは自分が食べたものです。ですから、神をわたしたちの食物として食べるなら、わたしたちは神と一であり、神格においてではなく命と性質において神となりさえします——ヨハネ 1:1, 14. 6:35, 51, 57。

II. 神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をすることは、神の大いなる喜びのために生きることです——エペソ 1:5, 9. マタイ 17:5 :

A. エペソ人への手紙は、神の大いなる喜び、彼の心の願いという角度から書かれました—— 1:5, 9 :

1. 神は喜びを必要とし、この喜びは彼のみこころにしています—— 5 節。
2. 神の大いなる喜びは、彼を幸いにするものです—— 5, 9 節 :
 - a. 神は彼を創造した人を喜び (創 1:26, 31)、キリストの肉体と成ることを喜び (ルカ 2:9-14)、キリストのバプテスマを喜び (マタイ 3:16-17)、復活したキリストを喜びました (17:5. ルカ 24:26)。

b. 神は御子がわたしたちの中に啓示されることを喜び（ガラテヤ 1:15-16）、彼はわたしたちの中で働くことを喜び（ピリピ 2:13）、彼はわたしたちが栄光化されることを喜びます（ローマ 8:18-19, 21-23）。

3. 召会は神のみこころの大いなる喜び、すなわち神の心の願いにしがっていています——エペソ 1:5, 9, 22-23. 3:9-11。

B. 「回復は、神が彼の偉大な喜びを再び得ることです……わたしたちは、神がわたしたちの間に偉大な喜びを得る人でなければなりません……わたしたちは今や、神の喜びにしがって生き、歩いています」（ライフメッセージ、第2巻、第33章）。

C. 神の目に最も喜ばしいのは、わたしたちが霊の中で生き、歩いて、彼の永遠の定められた御旨を完成することです——ヨハネ 4:24. エペソ 1:9, 17. 3:11, 16。

Ⅲ. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をするために、神のみこころを知って、それを行なう必要があります——コロサイ 1:9. マタイ 7:21 :

A. 神は定められた御旨のある神であり、ご自身のみこころの喜びを持ちます。彼はご自身のみこころのために万物を創造し、彼の定められた御旨を成就し完成するようにしました——啓 4:11. エペソ 3:9-11. コロサイ 1:9 :

1. 神のみこころは彼の心の願い、彼が人とミングリングすること、彼の永遠のご計画を完成することです——エペソ 1:5, 9, 11. 5:17。

2. 神のみこころはキリストのためにからだを得て彼の豊満、彼の表現とすることです——ローマ 12:2, 5. エペソ 1:5, 9, 11, 22-23。

B. わたしたちは神のみこころを知る全き知識で満たされる必要があります——コロサイ 1:9 :

1. コロサイ第1章9節における神のみこころは、神の永遠の定められた御旨に関するみこころ、キリストについての神のエコノミーに関するみこころです——エペソ 1:5, 9, 11。

2. 神のみこころを知る全き知識を持つとは、神のご計画に対する啓示を持って、神が宇宙で行ないたいことを、わたしたちが知ることです——啓 4:11 :

a. 神のご計画は、キリストを神聖なエコノミーの中ですべてとすることです——マタイ 17:5. コロサイ 1:15-18. 3:10-11。

b. 神のご計画に対する啓示は、わたしたちに道を開いて、わたしたちがキリストに対する経験をさらに持つようにします——2:16-17. 3:4, 15-16。

3. わたしたちのための神のみこころは、わたしたちがすべてを含むキリストを知り、彼を経験し、わたしたちの命として彼を生きることです——1:9, 15-18. 3:4。

4. 主のものにふさわしく歩くことは、神のみこころを知る全き知識を持った結果です。そのような歩みは、わたしたちがキリストを生きる歩みです——1:10. ピリピ 1:19-21 前半。

C. わたしたちは来たるべき時代に天の王国の実現の中に入ろうとするなら、この時代にわたしたちの御父のみこころを行なわなければなりません——マタイ 7:21-23.

6:10. 12:50. 啓 4:11. ローマ 12:2. エペソ 1:5, 9, 11. 5:17. コロサイ 1:9. 4:12 :

1. 王国は神のみこころの事柄であり、神のみこころを完成します——マタイ 6:10。

2. わたしたちは御父のみこころを行なうために、狭い門から入り、狭められた道を歩く必要があります——7:13-14。

3. わたしたちは、御父のみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれるようにと祈る必要があります。これは天の王国を地にもたらすことです——6:10. 啓 11:15。